

主な記事

2・3面 都本部第74回定期大会(質疑応答)

4面 私のおすすめ(町田市会計年度任用職員労働組合 執行委員長 立石 弘子)

都本部2025春闘総決起集会を開催

自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号
SKプラザ4階
電話 03-3556-3755
自治労東京都本部発行
企画総務局
責任者 松村 誠治
編集者 西岡 芳宏
1部10円(但し組合員は組合費を含む)

都本部第74回定期大会 2025年度運動方針を確立

組合員の声を起点にした 運動強化と組織強化へ

都本部は、3月8日、第74回定期大会を連合会館大会議室で開催した。代議員141人(うち女性35人)が参加した。経過報告並びに2025年度運動方針(案)をはじめ、7つの議案を提案し、質疑答弁を経て、討議案である第4号議案を除きすべての議案が賛成多数で可決された。

今大会は、代議員対面参加、傍聴者は対面を基本とし、一部YouTube視聴による参加形式とした。なお役員信任投票を経て、松村誠治さん(葛飾区職労)を引き続き中央執行委員長とする新執行体制が確立した。

大会議長に石川代議員(葛飾区職労)、毛利代議員(東交)を選出した。松村委員長は挨拶で、「2025年は重要な節目の年である。春闘が70周年を迎え、物価高に苦しむ現状を改善し、安定した経済環境を作るべきである。また、戦後80年を迎え、平和の尊さを再確認し、核兵器廃絶と恒久平和の実現を訴え続けなければならない」と述べるとともに、都本部2025運動方針確立にむけた決意を述べた。

運動方針 11点重点項目

2025年度運動方針(案)、2025年度一般会計、特別会計予算(案)など、7議案について議論。運動方針では、組合員の「声」を起点とした運動の構築、第6次組織強化拡大の取り組み、単組運動の活性化と「伴走役」としての都本部機能の向上、新たな組合役員を担う「人材」の発掘、育成の取り組み、「地域のセーフティネット」を維持するための人員確保、賃金闘争の再構築、ハラスメントのない職場の実現に向けて、憲法を守り、平和を確立する運動の推進、参議院議員選挙の取り組み、共助の活動を支える労働者自主福祉運動の強化・充実、財政状況による執行体制の再構築の11点を掲げた。質疑では、組織強化・仲間づくりの課題、組合費水準の課題、再任用職員の賃金改善の取り組み、会計年度任用職員の処遇改善などについて、事前質疑を含め、14単組16代議員から質疑・発言があった。その後、執行部答弁を経て、すべての議案が賛成多数で可決された。(詳細は2面参照)

第5号議案では、役員選挙(信任投票)が電子投票システムにより実施され、すべての候補者の信任とともに25年、26年度の都本部新執行体制が確立された。委員長には、松村誠治さん(葛飾区職労・都本部前副委員長)が引き続き就任した。最後に、大会宣言(案)を都本部大塚副委員長より提起。ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ地区攻撃など、世界情勢は厳しく、国内では政治の不安定さと能登半島地震後の復旧遅れが続いている中、自治労東京都本部は、組合員の「声」を基盤にした運動の推進、賃金闘争、組織強化を進め、地域のセーフティネット維持にむけた人員確保と公共サービスの向上に取り組む。また、参議院選挙での候補者再選をめざし、政治活動を強化し、方針実現にむけて全力を挙げ、戦うことを要旨とした大会宣言(案)が、代議員の満場の拍手により採択され、松村中央執行委員長の団結ガンパローにより閉会した。

新しい仲間の皆さんへ 失敗を恐れず、 積極的にチャレンジ!



自治労東京都本部
中央執行委員長
松村 誠治

新規採用職員のみならず、おめでとごさまい皆さんの「いのちと暮らし」を守る大切な仕事を果たすために一緒に頑張りたいです。新社会人となった方に、責任も重大です。これからの日々は、きっとや労働条件の改善には、一人でも多くの方が、労働組合に加入することが大変重要なために、私たち自身の「声」を上げ、積極的にチャレンジして欲しいです。皆さんのご協力のために、より良い職場を一緒に作っていきましょう。労働組合は、新人職員のみならず、皆さんを応援します。

その一方で、不安も感じ、心配しなくていい。一人で抱え込む必要はありません。一人でも多くの方が、労働組合に加入することが大変重要なために、私たち自身の「声」を上げ、積極的にチャレンジして欲しいです。皆さんのご協力のために、より良い職場を一緒に作っていきましょう。労働組合は、新人職員のみならず、皆さんを応援します。



議案採決の後、松村中央執行委員長の団結ガンパローで閉会した

自治労東京 ホームページのご案内

組合員のための
情報盛りだくさん
・機関紙デジタル版
・家電の限定優待販売も
3月3日から開始!

https://jichirotokyo.jp/
組合員専用ページ
パスワード「tohonbu」

東奔西走

今年の3月は、定年引上げ後初の定年退職があった。60歳超の7割賃金水準に驚愕しながらも、踏ん張っていただき、さらに暫定再任用として4月からも働き続けていただいていることに、心から感謝する。また4月は、多くの新規採用者も入庁した。研修と日常業務とで毎日がてんで舞い上がるが、この数年の賃金確定闘争において初任給がかなりアップしたので給料日を楽しみにしている。賃上げと賃上げがあたりまえの社会みんなでスクラム、つくりたい労働組合をスローガンに今春闘に取り組んでいる。会社に労働組合があるかないかで、賃上げに1%の差が出ている。もちろん、労働組合のある会社の方が賃上げ率は高い。翻って公務員職場では労働組合の存在意義が見えにくく、やや敬遠されがちだが、実は異動時や日頃の相談など、縁の下で力持的に労働組合が活躍していることが多い。新規採用職員も皆さん、遠慮せず労働組合に加入してね!

(佐々木)

